

当社は主に以下の取組を行います

- ① 製造過程で使用するエネルギーの高効率なシステムへ更新
- ② 自社工場への太陽光発電システム導入
- ③ 外部調達電力を再生可能エネルギー電源へ切替

これらにより製品製造時でのCO2排出量を削減しながら付加価値向上と環境負荷低減を両立する活動に取り組みます。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施機関

2022年1月～2024年12月

2. 生産性向上の目標

炭素生産性を24.8%向上させる

3. 前向きな取組の内容

○以下の取組により炭素生産性を1.0～3.9%向上

- ・高効率なボイラーシステムへの更新(高砂工場、宇治川工場、多摩川工場)
- ・高効率冷蔵保管システム導入(高砂工場)
- ・排熱回収システム導入(木曽川工場)
- ・太陽光発電システム導入(高砂工場)
- ・ボトリングラインの処理能力向上(高砂工場)

○自社生産拠点の電力を再生可能エネルギーに段階的に切替

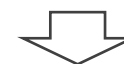
4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<取組内容のイメージ>

電力・燃料調達

- ・太陽光発電システム導入
- ・再生可能エネルギー調達



工場での製造

・ボイラーシステム効率改善



効率98%

・排熱回収システム導入

